

「日野市在宅療養体制構築のための基本方針」進行管理表

注： 施策項目の年度達成状況を確認し基本的方向性の進捗を管理します。

施策及び年度事業目標の進捗状況	達成：	施策項目の全ての事業で年度目標を達成。
	概ね達成：	施策項目の事業全体で、「概ね(7,8割程度)」年度目標を達成。
	一部達成：	施策項目の事業全体で、年度目標の達成が「一部(7割未満)」に留まった。
	未達成・未着手：	施策項目の各事業で、年度目標の「一部(2割未満)」もしくは未着手である。

基本的方向性 1	医療機関の特徴や相談窓口の見える化に取り組みます	令和元年度基本的方向性の達成状況 (施策項目1~5の総括)	概ね達成
-----------------	---------------------------------	----------------------------------	-------------

施策項目1	在宅包括ケア体制に関する周知・啓発（冊子・リーフレット・在宅医一覧・マップなど）						
	2025年、2040年に向け、在宅療養・在宅看取りのニーズが高まる中で、市民一ひとりが在宅療養・在宅看取りを選択肢の一つとして検討できる環境づくりが必要						
事業及び主管課	最終年度（令和6年度）の目標	令和元年度の目標、実施内容	令和元年度事業の取組・実績状況	令和元年度 施策項目達成状況	施策項目に関する課題 (次年度の取組みへ反映すべき内容)	令和2年度への課題対応 (前年度の実施状況を受けての見直し等)	
市民一人ひとりが、在宅療養・在宅看取りについて、正しく理解し、「選択肢の一つ」として検討できるよう、冊子・リーフレットなどにより、周知啓発を図る。合わせて、市内の在宅医療に関する情報を整理し、一覧やマップにして提供をする。	在宅療養支援課 (連携) 高齢福祉課 都市計画課	市民一人ひとりが、在宅療養・在宅看取りについて、正しい理解のもと「選択肢の一つ」として認識している	周知啓発用のリーフレットの作成 在宅医の一覧の作成	概ね達成	①地域資源の可視化と更新 ②周知啓発の機会の確保と創出	①GISによる可視化について検討を進める ②老人会、自治会などへ講演提案	

施策項目2	在宅療養に関する理解促進のための周知イベント、講座実施						
	2025年、2040年に向け、在宅療養・在宅看取りのニーズが高まる中で、市民一ひとりが在宅療養・在宅看取りを選択肢の一つとして検討できる環境づくりが必要						
事業及び主管課	最終年度（令和6年度）の目標	令和元年度の目標、実施内容	令和元年度事業の取組・実績状況	令和元年度 施策項目達成状況	施策項目に関する課題 (次年度の取組みへ反映すべき内容)	令和2年度への課題対応 (前年度の実施状況を受けての見直し等)	
市民が在宅療養に関する理解を促進するため、イベントや講座を企画。実際に専門職の話を聞き、福祉用具に直接触れるなどの体験を通じて、本人や家族が在宅療養が必要となった時にスムーズに環境を整えられるようにする。	在宅療養支援課 (連携) 高齢福祉課	市民一人ひとりが、本人・家族が在宅療養が必要になった時に、慌てず準備を整えスムーズに環境整備ができる	①イオンホールでの啓発イベントの開催 ②老人会等での講演会の実施	概ね達成	①イベント参加団体の拡充 ②講座実施のPR	①栄養士やリハビリ職の団体が新規に立ち上がってきているので、それら団体の参加の検討 ②市民へ啓発を丁寧な説明を進めるため、老人会や自治会単位での講座の実施	

施策項目3	在宅療養環境に関する相談窓口の明確化と周知					
	市立病院在宅療養支援窓口や地域包括支援センターなど相談先の整備を進めてきたが、それらの周知を進め市民がいつでも安心して相談できる体制の明確化が必要。					

事業及び主管課	最終年度（令和6年度）の目標	令和元年度の目標、実施内容	令和元年度事業の取組・実績状況	令和元年度 施策項目達成状況	施策項目に関する課題 （次年度の取組みへ反映すべき内容）	令和2年度への課題対応 （前年度の実施状況を受けての見直し等）
少子高齢化の進展に伴い、複雑化・多様化する相談案件に対し、既存の各課の相談窓口の位置づけ明確にするとともに、緊密な連携体制を構築し、市民が安心して相談できる体制を整備する	在宅療養支援課 (連携) 市立病院 セーフティネットコールセンター 高齢福祉課 障害福祉課	多様な問題を抱えた市民が、安心して相談できる体制があることを理解し、相談内容に合わせた相談先に行けるようになり、また、相談窓口間の緊密な連携も構築されている	①既存の相談窓口間の顔の見える関係作り ②(仮称)在宅療養サポートチームの令和2年度内の開設に向けた準備	概ね達成	①市民への周知啓発内容の整理 ②在宅療養支援診療所及び近隣病院との信頼関係の構築	①市民への情報発信方法の検討(チラシほか) ②日野市医師会の在宅医療推進協議会との連携と近隣病院の相談窓口との継続的な連絡連携体制の構築

施策項目4	ターミナルケア、緩和ケア、看取り支援に関する市民・関係者の理解促進					
	人生の最終段階において、最期まで本人の生き方尊重されるような医療・ケアに対する理解を本人・家族及びサービス提供関係者が進めることが必要。					

事業及び主管課	最終年度（令和6年度）の目標	令和元年度の目標、実施内容	令和元年度事業の取組・実績状況	令和元年度 施策項目達成状況	施策項目に関する課題 （次年度の取組みへ反映すべき内容）	令和2年度への課題対応 （前年度の実施状況を受けての見直し等）
人生の最終段階に対していかに準備をし、最後まで本人の希望が尊重されるように本人・家族及びサービス提供者が理解を進められるようにする	在宅療養支援課 (連携) 市立病院	市民・関係者が人生の最終段階における過ごし方の多様性を認識し、本人の希望が尊重されるような各種ケアが享受され看取られるよう、本人・家族及びサービス提供者すべてが十分な知識を有している	①緩和ケア講演会の実施 ②東京都作成の啓発チラシの配布	概ね達成	①イベント以外での普及啓発が不足 ②配布部数と配布場所の確保	①市民への情報発信方法の検討(チラシ、地域ごとの講演会の実施など) ②東京都との連携強化

施策項目5	在宅療養協力医療機関等に掲示する「サイン」の検討					
	市内において在宅療養に関わる機関を「サイン」などで明示することで、市民が在宅療養を選択肢の一部として考えられる一助とするとともに、サービス提供関係者のインセンティブにもつなげる					

事業及び主管課	最終年度（令和6年度）の目標	令和元年度の目標、実施内容	令和元年度事業の取組・実績状況	令和元年度 施策項目達成状況	施策項目に関する課題 （次年度の取組みへ反映すべき内容）	令和2年度への課題対応 （前年度の実施状況を受けての見直し等）
在宅療養に関わる多様な機関が分かるように「サイン」で明示し、市民が安心して多様な在宅療養に関する相談などが可能となるようにする	在宅療養支援課	市内において在宅療養に関わる関係機関が一目でわかるようになるとともに、そのサインを掲示している関係機関は市民からのあらゆる相談などに円滑に対応できる体制が整備されている	多職種勉強会などを通じた市内の在宅療養に関わる関係者との顔の見える関係作り	一部達成	関係多職種と個別の協議は進んでいない 既存の多職種連携ガイドの見直しも並行して必要	どのような「サイン」が良いかなど他市の事例などを調査研究する

「日野市在宅療養体制構築のための基本方針」進行管理表

資料2-2

注： 施策項目の年度達成状況を確認し基本的方向性の進捗を管理します。

施策及び年度事業目標の進捗状況	達成：	施策項目の全ての事業で年度目標を達成。
	概ね達成：	施策項目の事業全体で、「概ね(7,8割程度)」年度目標を達成。
	一部達成：	施策項目の事業全体で、年度目標の達成が「一部(7割未満)」に留まった。
	未達成・未着手：	施策項目の各事業で、年度目標の「一部(2割未満)」もしくは未着手である。

基本的方向性 2	患者やその家族の精神的・肉体的な負担軽減体制の整備に取り組みます	令和元年度基本的方向性の達成状況 (施策項目1~7の総括)	一部達成
-----------------	---	----------------------------------	-------------

施策項目 1	介護者を孤立させない包括的な相談・支援体制の整備						
	医療と介護に加え多様な主体が連携し介護者を支援する体制整備・連携ネットワークの構築が必要						
事業及び主管課	最終年度(令和6年度)の目標	令和元年度の目標、実施内容	令和元年度事業の取組・実績状況	令和元年度 施策項目達成状況	施策項目に関する課題 (次年度の取組みへ反映すべき内容)	令和2年度への課題対応 (前年度の実施状況を受けての見直し等)	
複雑化多様化する在宅療養患者及び家族を支える関係多職種による包括的な相談支援体制の構築	在宅療養支援課 (連携) 高齢福祉課 障害福祉課 環境保全課	医療・介護サービス主体のみならず、多様な暮らしに関わる事業者が個別ケースごとに参集し問題解決を図れるネットワークが構築されている	スーパーバイザーによる事例検討会を通じて多様な関係者のネットワークを構築・充実させる	月1回の事例検討会を実施生活に関わる事業者(水道、保健所、動物愛護センターほか)多様な参加者によるネットワークの構築が進んだ	概ね達成	関係性が継続する団体としない団体があるので、それらとの関係性の継続を図る仕組みが必要	メーリングリストなど、事例検討会に参加しない場合も情報が共有できる仕組みの構築

施策項目 2	レスパイト入院制度の拡充						
	医療的措置が必要な患者を支える家族が精神的・肉体的に休息するためのレスパイト入院が必要。						
事業及び主管課	最終年度(令和6年度)の目標	令和元年度の目標、実施内容	令和元年度事業の取組・実績状況	令和元年度 施策項目達成状況	施策項目に関する課題 (次年度の取組みへ反映すべき内容)	令和2年度への課題対応 (前年度の実施状況を受けての見直し等)	
現在、日野市立病院に2床を一時入院支援事業として確保しているが、今後増大が予測される在宅療養患者を受け入れられる病床の拡充を行う	在宅療養支援課 (連携) 市立病院	在宅療養患者本人の状態や、家族の状況に応じてレスパイト入院ができる病床が市内病院に確保されている	市立病院の一時入院支援事業の稼働率の向上を働きかけ、地域のニーズへの対応を充実する	市立病院の院内努力を働きかけ、若干ではあるが稼働率が向上。	一部達成	現在の仕組みでは純粋な家族のためのレスパイト入院のできる病床が市内で不足している	市立病院との協議のうえ、市内病院との受入れ先の拡充に向けた協議を進める

施策項目3	介護者家族が意見交換できる場の検討						
	介護者の精神的・肉体的な負担を軽減するため、同様な立場にある介護者同士が情報交換とその負担を共有できる場が必要						
事業及び主管課	最終年度（令和6年度）の目標	令和元年度の目標、実施内容	令和元年度事業の取組・実績状況	令和元年度 施策項目達成状況	施策項目に関する課題 （次年度の取組みへ反映すべき内容）	令和2年度への課題対応 （前年度の実施状況を受けての見直し等）	
同じ境遇にある介護者同士が気軽に訪れ、情報交換ができ場の創出	在宅療養支援課 （連携） 高齢福祉課 都市計画課	市内のどこに居住していても、介護者同士が気軽に訪れ情報交換できる場所が開設されている。	既存の交流スペースの確認や先進事例の研究	一部達成	がんカフェや高齢者サロンに参加し、参加者に意見を収集	空き家の活用を試みたが、条件などが折り合わない。 既存スペースの活用を検討しながら、空き家の活用や運営スタッフの確保について検討を進める。	

施策項目4	患者の希望、価値観に沿った支援体制の検討（ACP（人生会議）・リビングウィルなど）						
	患者本人が意思表示できるうちに、「人生会議」などを通じて患者本人の望む人生の最終段階における医療・ケアについて話し合っておくことが重要。						
事業及び主管課	最終年度（令和6年度）の目標	令和元年度の目標、実施内容	令和元年度事業の取組・実績状況	令和元年度 施策項目達成状況	施策項目に関する課題 （次年度の取組みへ反映すべき内容）	令和2年度への課題対応 （前年度の実施状況を受けての見直し等）	
ACP(人生会議)やリビングウィルが患者の希望に沿った形で支援できる体制を整備	在宅療養支援課 （高齢福祉課）	市民の誰もが自分の希望と価値観に沿った支援が受けられるよう、専門多職種によるACP(人生会議)が実施される仕組みを構築	①多摩緩和ケアカンファレンスに参加し事例検討を通じた人脈作り ②市立病院のがんカフェに保健師が参加相談を受けながら患者ニーズの聞き取り	一部達成	①多摩南部地域病院の緩和ケア担当医師と関係性を構築。日野市でのACPに関する講演会の開催。 ②患者ニーズの聞き取りを継続的に実施(月1回)し信頼関係を構築	関係多職種による支援体制の構築に向けた取り組みが必要 ACP(人生会議)について、多職種勉強会などで取り上げ、専門職からの意見も収集。	

施策項目5	地域、関係機関を含めた見守り、相談体制の強化						
	今後、高齢者のみ世帯・独居世帯の急激な増大が見込まれるため、従来構築してきた既存の見守り方法に加え互助的な新しい視点での見守りが必要。						
事業及び主管課	最終年度（令和6年度）の目標	令和元年度の目標、実施内容	令和元年度事業の取組・実績状況	令和元年度 施策項目達成状況	施策項目に関する課題 （次年度の取組みへ反映すべき内容）	令和2年度への課題対応 （前年度の実施状況を受けての見直し等）	
既存の見守りの仕組みに加え、ICTなどを活用した全世代が見守る仕組みの構築	在宅療養支援課 （連携） 企画経営課	高齢者のみ世帯、独居世帯の方を地域コミュニティで支え見守れる仕組みを、多様なICT技術と既存のネットワークを活用して構築する	医師会から紹介された携帯端末を活用した見守りの仕組みの研究及びモデル地区での実証。 (見守り合いプロジェクト)	一部達成	多摩平の森A街区で実施されたイベントでモデル事業を実施 テスト運用した仕組みの検証と普及啓発方法の検討	関係多職種による活用の検討と普及啓発	

施策項目6		テクノロジーの活用の研究（人感センサーの活用など）						
		在宅療養患者の増大が見込まれる中で、限られた人材と資源を有効活用するためにテクノロジーを活用することが必須。						
事業及び主管課		最終年度（令和6年度）の目標	令和元年度の目標、実施内容	令和元年度事業の取組・実績状況	令和元年度 施策項目達成状況	施策項目に関する課題 （次年度の取組みへ反映すべき内容）	令和2年度への課題対応 （前年度の実施状況を受けての見直し等）	
<p>老々世帯や独居世帯の増加に対し、テクノロジーを活用し、市民が在宅で安全に安心して暮らせる環境の確保</p>		<p>在宅療養支援課 （連携） 企画経営課</p>	<p>多種多様なテクノロジーの活用により、市民が在宅で安全に安心して暮らせる環境が整備されている</p>	<p>市内企業との意見交換及び実施に向けた検討</p>	<p>市内企業2社との意見交換を実施。地域包括支援センターとの検討</p>	<p>一部達成</p>	<p>モニターをできる家庭に確保が困難（市民の抵抗感） 各社ともテスト段階なのでコストが不明確</p>	<p>モニターできる家庭に確保に向けた地域との協議</p>

施策項目7		口腔ケア・栄養管理などの充実						
		重症化予防・フレイル予防に取り組み健康寿命を延伸するために、口腔ケア（オーラルフレイルへの対応）と栄養管理（低栄養対策）が必要						
事業及び主管課		最終年度（令和6年度）の目標	令和元年度の目標、実施内容	令和元年度事業の取組・実績状況	令和元年度 施策項目達成状況	施策項目に関する課題 （次年度の取組みへ反映すべき内容）	令和2年度への課題対応 （前年度の実施状況を受けての見直し等）	
<p>健康寿命の延伸のため必要とされる口腔ケア・栄養管理について、民間企業及び関係多職種と協働して充実を図る</p>		<p>在宅療養支援課 （連携） 健康課 高齢福祉課</p>	<p>市民の健康寿命の延伸のため、口腔ケアや栄養管理について多様な関係機関が連携し、重症化予防やフレイル予防が実施されている</p>	<p>管理栄養士によるサロンでの共食事業をモデル事業として実施</p>	<p>高齢者サロンでの「共食事業」の実施（6回）</p>	<p>概ね達成</p>	<p>参加者集めと参加頻度でサロン側との調整に時間がかかった</p>	<p>令和元年度は市内1カ所での開催だったので、別の場所での実施も検討</p>

「日野市在宅療養体制構築のための基本方針」進行管理表

注： 施策項目の年度達成状況を確認し基本的方向性の進捗を管理します。

施策及び年度事業目標の進捗状況	達成：	施策項目の全ての事業で年度目標を達成。
	概ね達成：	施策項目の事業全体で、「概ね(7,8割程度)」年度目標を達成。
	一部達成：	施策項目の事業全体で、年度目標の達成が「一部(7割未満)」に留まった。
	未達成・未着手：	施策項目の各事業で、年度目標の「一部(2割未満)」もしくは未着手である。

基本的方向性3	患者を中心とした関係機関の意識と情報の共有化に取り組みます	令和元年度基本的方向性の達成状況 (施策項目1~6の総括)	概ね達成
----------------	--------------------------------------	----------------------------------	-------------

施策項目1	地域包括ケアシステムに関わる医師会等との包括協定締結						
	3師会（医師会・歯科医会・薬剤師会）をはじめとする医療・介護サービス提供機関が地域包括ケアシステムの構築に積極的に起用してもらうことが必要						
事業及び主管課	最終年度（令和6年度）の目標	令和元年度の目標、実施内容	令和元年度事業の取組・実績状況	令和元年度 施策項目達成状況	施策項目に関する課題 (次年度の取組みへ反映すべき内容)	令和2年度への課題対応 (前年度の実施状況を受けての見直し等)	
日野市における地域包括ケアシステムの構築に向け、関係多職種が目指すべき姿を共有し、連携を進める根拠として包括協定を締結する	在宅療養支援課 【連携】 高齢福祉課 市立病院	在宅療養に関わるあらゆる団体間の連携が密に図られ、患者本人及び家族が安心して住み続けられる体制が整っている	①日野市医師会と「地域包括的連携協力に関する協定」の締結 ②連携ルールの策定後、関係多職種との「(仮称)地域包括ケアのための連携協定」締結の検討	一部達成	①協定締結に基づく、具体的な協働事業の整理と実施 ②関係多職種の範囲の検討(栄養士やリハビリ職など新しい団体との関係の整理)	①日野市医師会とは協定に位置付けられた「連携確認会議」開催し、連携内容など協議 ②多職種の連携については、引き続き在宅高齢者療養推進協議会検討部会で、協議を進める	

施策項目2	医療専門職と介護専門職との連携ルール等の作成						
	ケアマネタイムなどのように、医療・介護双方の関係者が円滑に連携し業務を進めるためのルールやエチケットが必要						
事業及び主管課	最終年度（令和6年度）の目標	令和元年度の目標、実施内容	令和元年度事業の取組・実績状況	令和元年度 施策項目達成状況	施策項目に関する課題 (次年度の取組みへ反映すべき内容)	令和2年度への課題対応 (前年度の実施状況を受けての見直し等)	
既存の「介護と医療の連携シート」の確認と、医療と介護がより連携がしやすくなるためのルールやエチケットを含む連携ルールを作成する	在宅療養支援課 【連携】 高齢福祉課 市立病院	在宅療養に関わる医療専門職と介護専門職及び行政も含めた連携ルールが市内共有され、患者及び家族に対して円滑にサービス提供が図られる	・在宅高齢者療養推進協議会検討部会にて連携ルールを作成	概ね達成	令和元年度については、基本的な大枠のルールの作成を進めたので、令和2年度は引き続き細部のルールの検討を進める必要がある	関係多職種間で課題となっている案件に聞き取りを進め、課題解決に向けた検討を進める。	

施策項目3	情報ネットワーク強化方法の検討（ICTの活用）					
	従来、電話・FAXなどで行われてきた多職種の情報交換・連携の方法をICTを活用することで、よりスピーディーに円滑に連携をとれるようにすることが望まれている					

事業及び主管課	最終年度（令和6年度）の目標	令和元年度の目標、実施内容	令和元年度事業の取組・実績状況	令和元年度 施策項目達成状況	施策項目に関する課題 （次年度の取組みへ反映すべき内容）	令和2年度への課題対応 （前年度の実施状況を受けての見直し等）
多職種間での情報共有手段としてのICTの活用について検討し、より効率的に連携を図れる仕組みを構築する	在宅療養支援課	関係多職種間での情報共有手段が確立され、いつでもどこでもリアルタイムで在宅療養患者の状況を把握できる。 ただし、緊急性を要するものについては、電話など即応性のあるツールを使用する。	MCS(メディカルケアステーション)のテスト運用を実施し、関係多職種からの意見聴取を行う	概ね達成	・端末の確保(事業所から提供されている人とそうでない人がいる) ・個人情報の取り扱い	・個別の患者グループを形成する場合、医療情報などセンシティブ情報を取り扱うため、運用ポリシーなどの検討が必要

施策項目4	多職種の意見交換の機会と患者情報共有方法の検討					
	既存の多職種勉強会以外の交流会や情報交換会の形態を検討し、新しく形成されてきた団体（栄養士会、リハ職の団体など）との意見交換などを実施することが必要					

事業及び主管課	最終年度（令和6年度）の目標	令和元年度の目標、実施内容	令和元年度事業の取組・実績状況	令和元年度 施策項目達成状況	施策項目に関する課題 （次年度の取組みへ反映すべき内容）	令和2年度への課題対応 （前年度の実施状況を受けての見直し等）
既存の市主催の医療と介護に連携推進勉強会以外の交流会や情報交換会の携帯を検討し、市内の在宅療養に関わる多様な関係機関が意見交換し、患者情報を共有できる仕組みの検討	在宅療養支援課 【連携】 高齢福祉課	テーマごとに多職種が意見交換できる機会が確保され、個別の患者情報を共有する方法が確立されている	新しく形成された団体との意見交換の実施(栄養士、リハビリ職、看護職)	一部達成	既存の在宅高齢者療養推進協議会検討部会の構成団体から慎重に対応する必要性が指摘されている。	多職種連携ルールの整備の中で、新しく形成された団体との関わり方など整理検討が必要

施策項目5	関係機関による定期的な意見交換の場の設定					
	在宅療養に関わる団体（3師会、UR、市立病院など）等との連携や地域包括ケアシステムの構築について、国や東京都の動向を踏まえ定期的に意見交換することが必要。					

事業及び主管課	最終年度（令和6年度）の目標	令和元年度の目標、実施内容	令和元年度事業の取組・実績状況	令和元年度 施策項目達成状況	施策項目に関する課題 （次年度の取組みへ反映すべき内容）	令和2年度への課題対応 （前年度の実施状況を受けての見直し等）
地域包括ケアシステムの構築に向け、医療、介護、住まい、介護予防、生活支援などに関わる団体との意見交換の場の創設。	在宅療養支援課 【連携】 市立病院	地域包括ケアシステムの構築に関わる医療、介護、住まい、介護予防、生活支援などに関わる団体が定期的集まり、意見交換を行う場が創設され、活発な意見交換のもと日野市の地域包括ケアについて話し合っている	・協定に基づく日野市医師会との「連携確認会議」の実施 ・日野市地域医療連携協議会での意見交換	一部達成	医療と介護以外の団体、例えば住まいに関することでURなどの話し合いの場が少ない	UR団地での医療相談会などの実施を通じて、関係性の構築を図る

施策項目6	関係機関への支援（医療、薬剤、介護等へのスーパーバイズ、認定看護師との連携など）						
	少子高齢化の進展に伴い課題の多様化による関係機関の困りごと（複合的困難事例など）への支援の必要性が増大してきている						
事業及び主管課	最終年度（令和6年度）の目標	令和元年度の目標、実施内容	令和元年度事業の取組・実績状況	令和元年度 施策項目達成状況	施策項目に関する課題 （次年度の取組みへ反映すべき内容）	令和2年度への課題対応 （前年度の実施状況を受けての見直し等）	
多様化する関係機関の困りごとについて支援を検討し対応する(事例検討会、認定看護師による支援など)	在宅療養支援課 【連携】 健康福祉部 市立病院	関係機関の困りごとについて対応する仕組みが構築され、医療と介護以外の関係機関との連携体制も整備されている	①スーパーバイザーによる事例検討会の実施 ②認定看護師と地域との関係性の強化	①月1回ペースで事例検討会の実施 ②市立病院看護部と協議し、地域包括支援センターへの認定看護師派遣のルールを整備	概ね達成	困難事例の検討に多様な関係者の参加が必要となってきた(動物愛護センター、水道事業者、多摩南部成年後見センターほか)	新しく関係性が生まれた関係団体との、継続的な関係の維持について方策を検討

「日野市在宅療養体制構築のための基本方針」進行管理表

資料2-2

注： 施策項目の年度達成状況を確認し基本的方向性の進捗を管理します。

施策及び年度事業目標の進捗状況	達成：	施策項目の全ての事業で年度目標を達成。
	概ね達成：	施策項目の事業全体で、「概ね(7,8割程度)」年度目標を達成。
	一部達成：	施策項目の事業全体で、年度目標の達成が「一部(7割未満)」に留まった。
	未達成・未着手：	施策項目の各事業で、年度目標の「一部(2割未満)」もしくは未着手である。

基本的方向性 4	在宅療養環境のバランスを考慮したコーディネートに取り組みます	令和元年度基本的方向性の達成状況 (施策項目1~6の総括)	概ね達成
-----------------	---------------------------------------	----------------------------------	-------------

施策項目 1	(仮称)在宅医療・介護連携支援センターの開設						
	医療と介護の連携に関して、第三者的な立場で調整し支援するセクションが必要						
事業及び主管課	最終年度(令和6年度)の目標	令和元年度の目標、実施内容	令和元年度事業の取組・実績状況	令和元年度 施策項目達成状況	施策項目に関する課題 (次年度の取組みへ反映すべき内容)	令和2年度への課題対応 (前年度の実施状況を受けての見直し等)	
医療と介護の連携全般にわたり、地域包括支援センターをはじめ地域の関係者・団体を支援するセクションを創設する。	在宅療養支援課 【連携】 市立病院	在宅療養支援課内に(仮称)在宅療養サポートチームが創設され、事実上(仮称)在宅療養サポートチームが関係する機関・団体とチームを編成し対応する体制が整備されている。	・(仮称)在宅療養サポートチームの創設に向けた庁内調整	概ね達成	市立病院の在宅療養支援窓口とのすみ分け・役割分担については事案ごと丁寧な協議が必要	市立病院地域医療連携室をはじめ。関係各課、団体と継続的な協議をしながら、市内外への(仮称)在宅療養サポートチームの周知を進める	

施策項目 2	診療所間のスムーズな連携と連携支援体制の検討						
	今後、通院できなくなる患者が増大することが見込まれる中で、外来中心の医療機関と在宅医療中心の医療機関との連携の構築が必須						
事業及び主管課	最終年度(令和6年度)の目標	令和元年度の目標、実施内容	令和元年度事業の取組・実績状況	令和元年度 施策項目達成状況	施策項目に関する課題 (次年度の取組みへ反映すべき内容)	令和2年度への課題対応 (前年度の実施状況を受けての見直し等)	
外来中心の医療機関と在宅療養支援診療所間の連携支援体制の構築に向けた検討を進める	在宅療養支援課	外来中心の診療所を受診している患者が通院が困難になってくることが予想される時点で、在宅療養支援診療所への移行がスムーズに行われる体制が整備されている	外来中心の医療機関と在宅療養支援診療所の連携に関する現状の確認	一部達成	・外来を中心とする医療機関と在宅療養支援診療所の患者動向に対する認識の相違 ・在宅療養支援診療所間でも訪問診療対象者などへの差異がある(居宅専門、施設専門、自院の患者のみなど)	日野市医師会の在宅医療推進協議会との意見交換の中で今後の進め方を検討	

施策項目3	「在宅療養コーディネーター」の配置による在宅療養環境整備						
	(仮称)在宅医療・介護連携支援センターに担当者として、在宅医療・介護連携推進事業を進める人材として配置						
事業及び主管課	最終年度(令和6年度)の目標	令和元年度の目標、実施内容	令和元年度事業の取組・実績状況	令和元年度 施策項目達成状況	施策項目に関する課題 (次年度の取組みへ反映すべき内容)	令和2年度への課題対応 (前年度の実施状況を受けての見直し等)	
在宅医療・介護連携推進事業を進める人材を配置し、在宅療養環境の整備を進める	在宅療養支援課	(仮称)在宅療養サポートチームの担当者が「在宅療養コーディネーター」としてあらゆる相談や困難事例に対応するとともに、日野市の在宅療養環境整備に向けた関係機関との協議・調整を進めている	在宅療養支援課の保健師による在宅療養環境の整備などのコーディネーター及び相談対応の実施	在宅療養支援課所属の保健師による対応 ・事例検討会の実施 ・医療相談会の実施 ・がんカフェでの相談業務 ・電話相談への対応(市内外) (10月末現在57件)	一部達成	他市の病院からも相談事案が入るようになってきているが、より認知を進める必要がある	在宅療養コーディネーターによる継続的な市内外との関係機関との顔の見える関係を構築するため、多様な関係機関への訪問・協議・調整などを実施

施策項目4	丘陵部と平坦部の格差をなくす移送手段の検討						
	特に丘陵地において、居住地から徒歩などで通院できる病院が減少する中で、既存の公共交通機関によらない移動手段の検討						
事業及び主管課	最終年度(令和6年度)の目標	令和元年度の目標、実施内容	令和元年度事業の取組・実績状況	令和元年度 施策項目達成状況	施策項目に関する課題 (次年度の取組みへ反映すべき内容)	令和2年度への課題対応 (前年度の実施状況を受けての見直し等)	
丘陵部と平坦部の社会資源の差異に伴う格差を是正するための移送手段を検討	在宅療養支援課 【連携】 企画経営課 都市計画課	既存の公共交通機関とともに、新たな通院などの手段としての患者本人とご家族の移送手段が確立されている	・丘陵地における社会資源の現状確認 ・先進事例の検討	・丘陵地における社会資源の洗い出し ・関係者からの聞き取り ・先進事例の調査	一部達成	・今後も医療資源の撤退が進むことが予想されるとともに、市民の高齢化に伴う既存の公共交通機関だけでは対応しきれない事案が発生し始めている	医療・介護関係者はもちろん、企画経営課を通して、市内民間企業との情報交換を実施し、新しい移送手段の検討を進める

施策項目5	「医療職による出張相談会」の丘陵部等での実施(まちな保健室など)						
	医療職に気軽に相談できる機会を提供し、在宅療養に対する不安を軽減。						
事業及び主管課	最終年度(令和6年度)の目標	令和元年度の目標、実施内容	令和元年度事業の取組・実績状況	令和元年度 施策項目達成状況	施策項目に関する課題 (次年度の取組みへ反映すべき内容)	令和2年度への課題対応 (前年度の実施状況を受けての見直し等)	
患者本人及び家族が医師、看護師など医療職に気軽に相談できる機会を提供し、在宅療養に対する不安を軽減する相談会の実施。	在宅療養支援課	患者本人及び家族が診療時以外で、医療職に気軽に相談できる場があり、不安の軽減や今後の治療に関する自己判断のための材料などが提供されている	・医療職による医療相談会の実施 ・URとの連携による丘陵部での実施	・医師、訪問看護師、地域包括支援センターの協力のもと、市内公共施設での医療相談会の実施。 ・令和元年11月にUR高幡台団地で実施	概ね達成	・市民ニーズに対して、開催回数及び一組当たりの時間が少ない ・片面、申し込みが少ない場合もあるので周知方法の工夫も必要	協力医療機関・訪問看護ステーションなどを増やし、回数・時間などを増やすための方策を検討

施策項目6		関係機関との丘陵部対応等の検討および連携強化						
		医療機関が少なく、交通アクセスも困難な丘陵部の対応について、関係機関との連携による対応が必須						
事業及び主管課		最終年度（令和6年度）の目標	令和元年度の目標、実施内容	令和元年度事業の取組・実績状況	令和元年度 施策項目達成状況	施策項目に関する課題 （次年度の取組みへ反映すべき内容）	令和2年度への課題対応 （前年度の実施状況を受けての見直し等）	
少子高齢化が急速に進展するUR 団地と戸建て住宅がある丘陵部の 医療・介護需要などの対しての対応 方法を関係機関と検討し連携を進 めることで対応を図る		在宅療養支援課 【連携】 企画経営課 市立病院	丘陵部における医療や介護サービスの提供 が充足され、安心して暮らし続けることがで きるように、関係機関及び行政などによる支 援体制が整備されている	日野市地域医療連携協議会への問 題提起と意見聴取	令和元年10月開催の日野市立病院 主催による日野市地域医療連携協議 会への問題提起と意見聴取	概ね達成	・協議会からの意見として、丘陵部で の休日診療所と同様の仕組みによる 診療の提供や、平坦部への移送手段 の検討などの意見があったが、いず れも財政的な裏付けや協力者が必要	引き続き関係者間での検討を継続。

「日野市在宅療養体制構築のための基本方針」進行管理表

資料2-2

注： 施策項目の年度達成状況を確認し基本的方向性の進捗を管理します。

施策及び年度事業目標の進捗状況	達成：	施策項目の全ての事業で年度目標を達成。
	概ね達成：	施策項目の事業全体で、「概ね(7,8割程度)」年度目標を達成。
	一部達成：	施策項目の事業全体で、年度目標の達成が「一部(7割未満)」に留まった。
	未達成・未着手：	施策項目の各事業で、年度目標の「一部(2割未満)」もしくは未着手である。

基本的方向性5	退院・退所時に安心できる相談支援体制の整備に取り組みます	令和元年度基本的方向性の達成状況 (施策項目1~3の総括)	一部達成
---------	------------------------------	----------------------------------	------

施策項目1		市における退院支援ルールの整理、近隣市の病院との調整（市内受入れ体制周知）					
		市民が病院から退院する場合の支援ルールについて、市内病院だけでなく近隣の市外病院とも調整を進める					
事業及び主管課	最終年度（令和6年度）の目標	令和元年度の目標、実施内容	令和元年度事業の取組・実績状況	令和元年度 施策項目達成状況	施策項目に関する課題 (次年度の取組みへ反映すべき内容)	令和2年度への課題対応 (前年度の実施状況を受けての見直し等)	
市民が安心して病院から退院できるように、退院支援ルールを整備し、市内外の病院と共有	在宅療養支援課 【連携】 市内病院	日野市民が市内外を問わず、病院から退院する際の地域との退院支援ルールを、関係するすべての関係機関が共有し、安心して在宅療養を開始できるようになっている	①市内病院との顔の見える関係づくり ②近隣の日野市民の多くが入院する病院への挨拶回りによる関係づくり	①市内の7病院への挨拶回り ②市外の近隣14病院への挨拶回り (稲城、多摩、八王子、立川、府中)	概ね達成	関係性を継続するための手立ての検討(日野市の情報提供ほか) ・定期的にメールや訪問により顔の見える関係作りを進める	

施策項目2		市外の病院などからの退院者に対する相談窓口の周知（近隣相談窓口との連携など）					
		（仮称）在宅療養サポートチームについての、市外病院への周知啓発を進める					
事業及び主管課	最終年度（令和6年度）の目標	令和元年度の目標、実施内容	令和元年度事業の取組・実績状況	令和元年度 施策項目達成状況	施策項目に関する課題 (次年度の取組みへ反映すべき内容)	令和2年度への課題対応 (前年度の実施状況を受けての見直し等)	
市外病院の問い合わせ先として、（仮称）在宅療養サポートチームの周知啓発を進め、日野市に退院して帰ってくる市民がスムーズに在宅療養に入れるようにする	在宅療養支援課 【連携】 市内病院	市外病院が日野市民を在宅療養に戻すときの連絡・相談先として、（仮称）在宅療養サポートチームを認知し、困難事例の場合でも円滑に在宅療養に入れいるような体制が整備されている	近隣の在宅療養相談窓口との関係作りのための、日野市での勉強会の開催	・近隣在宅療養支援窓口(多摩、町田、稲城、小金井、東久留米市、西東京市、三鷹市、武蔵野市、東村山市)との勉強会の実施 ・MCSによる情報交換体制の整備	概ね達成	各市の在宅療養支援窓口の運営主体が行政ごとに違っており、多様な体制となっており、行政との関係性も様々なので一律の連携は困難 ・まずはMCSによる情報交換体制の整備を進める ・行政同士の連携を進め、それが在宅療養支援窓口同士の連携につながりように検討を進める	

施策項目3		(仮称)在宅医療・介護連携支援センターによるスムーズな体制整備					
		開設する(仮称)在宅療養サポートチームが、行政内部はもちろん多様な医療と介護の連携体制を構築し、安心して退院退所できる体制を整備する					
事業及び主管課	最終年度(令和6年度)の目標	令和元年度の目標、実施内容	令和元年度事業の取組・実績状況	令和元年度 施策項目達成状況	施策項目に関する課題 (次年度の取組みへ反映すべき内容)	令和2年度への課題対応 (前年度の実施状況を受けての見直し等)	
(仮称)在宅療養サポートチームが 庁内庁外の多種多様な関係機関と 連携できる体制を整備	在宅療養支援課 【連携】 市内病院	(仮称)在宅療養サポートチームが多様な関係機関と緊密な連携を行い、事案に合わせて関係機関とのチームを柔軟に編成しあらゆる事案に対応可能となっている。	(仮称)在宅療養サポートチームの開設に向けた準備として、その業務内容は人員体制や関係機関との調整などを実施	・市立病院地域医療連携室との協議 ・庁内関係課との調整(高齢福祉課、セーフティネットコールセンターほか)	概ね達成	保健師1名とCW1名の2名体制で当面進めるが、その他の専門職(MSW, 歯科衛生士、管理栄養士ほか)の必要性など検証が必要	当面は2名体制で進め、不足する専門職については、市立病院や健康課の専門職との連携することで対応

「日野市在宅療養体制構築のための基本方針」進行管理表

注： 施策項目の年度達成状況を確認し基本的方向性の進捗を管理します。

施策及び年度事業目標の進捗状況	達成：	施策項目の全ての事業で年度目標を達成。
	概ね達成：	施策項目の事業全体で、「概ね(7,8割程度)」年度目標を達成。
	一部達成：	施策項目の事業全体で、年度目標の達成が「一部(7割未満)」に留まった。
	未達成・未着手：	施策項目の各事業で、年度目標の「一部(2割未満)」もしくは未着手である。

基本的方向性 6	在宅療養の利用状況等のデータ集積に取り組みます	令和元年度基本的方向性の達成状況 (施策項目1~4の総括)	未達成・未着手
-----------------	--------------------------------	----------------------------------	----------------

施策項目1		在宅療養の利用状況、在宅療養に関する意識等の定期調査実施					
		患者及び家族と医療・介護のサービス提供主体に対し、在宅療養に関わるアンケートや調査を実施					
事業及び主管課	最終年度(令和6年度)の目標	令和元年度の目標、実施内容	令和元年度事業の取組・実績状況	令和元年度 施策項目達成状況	施策項目に関する課題 (次年度の取組みへ反映すべき内容)	令和2年度への課題対応 (前年度の実施状況を受けての見直し等)	
患者及び家族と医療・介護サービス提供主体に対して、在宅療養に関わるアンケートや調査を定期的に実施	在宅療養支援課 【連携】 高齢福祉課	患者及び家族と医療・介護のサービス提供主体に対して、在宅療養に関わるアンケートや調査が定期的に行われる環境が整備されている	①訪問看護ステーションに対する意識調査を実施 ②第4次高齢者福祉総合計画策定のための基礎調査の中で、在宅療養に関わる項目について、主管課である高齢福祉課と協議・調整を実施	①市内の訪問看護ステーションに訪問し聞き取り調査を実施(10か所) ②第4期高齢者福祉総合計画策定のための基礎調査を検討する会議に在宅療養支援課も同席し調整。	概ね達成	①厚労省の関東厚生局が在宅療養支援診療所に関するデータを公表しているため、その定点観察が必要。 ②令和元年度の調査結果の分析	①厚労省関東厚生局のデータを活用 ②第4期高齢者福祉総合計画のデータの活用

施策項目2		レセプトデータ等活用の検討(予防等への活用など)					
		国民健康保険データヘルス計画に代表されるレセプトデータ等の活用方法を検討					
事業及び主管課	最終年度(令和6年度)の目標	令和元年度の目標、実施内容	令和元年度事業の取組・実績状況	令和元年度 施策項目達成状況	施策項目に関する課題 (次年度の取組みへ反映すべき内容)	令和2年度への課題対応 (前年度の実施状況を受けての見直し等)	
国民健康保険データヘルス計画のデータや、今後活用の見込まれる	在宅療養支援課 【連携】 保険年金課 高齢福祉課 都市計画課	行政が持つ各種データが活用され、地域ごとや年代ごとの健康状態などが把握され、それらに合わせた重症化予防などの対策が講じられている	庁内で活用可能なデータの所在の把握し、その活用方法を検討する	企画経営課地域戦略担当や保険年金課に使用可能なデータがあることを確認 データの見える化についてはGISの活用を都市計画課と検討	一部達成	データの所在の確認までしかできなかったため、次年度以降その分析などを検討する	保険年金課と高齢福祉課介護担当と協議が必要(JAGES(日本老年医学的評価研究プロジェクト)の活用検討) また、GISを活用しデータの見える化を検討

施策項目3	在宅医療、介護へのAI技術導入可能性の検討						
	急速に進歩を続けているAI技術の在宅医療、介護への導入の可能性について検討						
事業及び主管課	最終年度（令和6年度）の目標	令和元年度の目標、実施内容	令和元年度事業の取組・実績状況	令和元年度 施策項目達成状況	施策項目に関する課題 （次年度の取組みへ反映すべき内容）	令和2年度への課題対応 （前年度の実施状況を受けての見直し等）	
AI技術の在宅医療、介護の現場への導入の可能性について検討し、情報分析、効率化の仕組みづくりに取り組む	在宅療養支援課 【連携】 企画経営課	在宅医療、介護の現場にAI技術が広く導入され、在宅療養や介護にまつわる事象情報が抽出され、効率的なサービスが提供されている	未着手	未着手	未達成・未着手	未着手	先進事例の調査から開始

施策項目4	定期的な調査結果に基づく柔軟な施策の展開						
	定期的に庁内で行われる各種アンケートや調査結果に基づき、柔軟な施策の検討・展開を随時行う						
事業及び主管課	最終年度（令和6年度）の目標	令和元年度の目標、実施内容	令和元年度事業の取組・実績状況	令和元年度 施策項目達成状況	施策項目に関する課題 （次年度の取組みへ反映すべき内容）	令和2年度への課題対応 （前年度の実施状況を受けての見直し等）	
庁内各課で行われる定期的な市民意識調査や各種アンケートなどの結果を収集・分析し、市民ニーズや社会情勢を的確に把握し、適宜柔軟な施策を展開する	在宅療養支援課	定期的に行われる在宅療養に関するアンケートや調査などが随時分析・検討され、市民ニーズや社会情勢に合わせて施策の展開が図られている	未着手	未着手	未達成・未着手	未着手	令和元年度の、各施策の進捗状況などを確認の上対応を検討